

平成30年度
事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

学校法人 尾張学園

目 次

学園の沿革

1 学校法人の概要

1. 設置する学校及び入学定員の状況
2. 設置する学校の生徒数の推移
3. 設置する学校の教職員数の推移
4. 役員の概要

2 事業の概要

1. 各校の概要
 - (1) 名古屋大谷高等学校
 - (2) 豊田大谷高等学校
2. 平成30年度 特別事業の概要

3 財務の概要

1. 資金収支計算書
2. 事業活動収支計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

学 園 の 沿 革

- 文政10年(1827年) 東本願寺掛所(名古屋別院)に閑蔵長屋を創設
- 明治 5年 講究所と改称
9年 尾張小教校となる
16年 尾張教校と改称
20年 大谷派普通学校と改称
27年 尾張中学寮となる
29年 真宗尾張中学と改称
41年 私立尾張中学校として文部省認可
- 昭和11年 瑞穂区高田町(現在地)に移転
23年 学制改革により新制高校となる
尾張高等学校設置許可
26年 学校法人尾張学園組織変更認可
30年 商業科設置
38年 洗心館(体育館兼講堂)竣工
40年 NHK学園協力校となる
49年 本館(現管理部門及び30教室)竣工
西館(旧本館)特別教室棟として改修
52年 正道館(武道館)竣工
53年 創立150周年記念式典挙行
58年 東館竣工
59年 尾張高等学校を名古屋大谷高等学校と改称
豊田大谷分校開設
60年 名古屋大谷高等学校校地を名古屋別院より無償譲渡される
61年 豊田大谷高等学校開設
62年 豊田大谷高校 豊徳館(体育館兼講堂)竣工
- 平成 2年 成績管理コンピューターシステム導入
5年 豊田大谷中学校開設
豊田大谷高等学校創立10周年記念式典挙行
9年 名古屋大谷高校校訓を「人と生まれ、人になる」に変更実施
- 平成11年 愛知新城大谷短期大学 社会福祉学科開設
名古屋大谷高校 男女共学制に移行及び福祉医療進学コース新設
創立170周年記念式典挙行
- 平成16年 短期大学を愛知新城大谷大学短期大学部 介護福祉学科と名称変更
愛知新城大谷大学 社会福祉学部を開設
- 平成17年 豊田大谷中学校募集停止(平成19年度より休校)
- 平成21年 愛知新城大谷大学・同短期大学部募集停止を届出
- 平成23年 愛知新城大谷大学短期大学部の廃止の認可
- 平成25年 豊田大谷中学校の廃止の認可
愛知新城大谷大学の廃止の認可
- 平成26年 名古屋大谷高等学校総合体育館(洗心館)竣工
- 平成27年 学園情報システム(教務・事務システム)刷新
- 平成28年 名古屋大谷高等学校実習棟竣工
- 平成29年 創立190周年記念広告を中日新聞に掲載

1 学校法人の概要

学校法人尾張学園は、教育基本法及び学校教育法に従って、建学の精神である「宗祖親鸞聖人のみ教え」と「真宗の教義」に基づいた学校教育を行い、「いのちを大切にし、真実に生きる人間形成」を目指しています。

この目的を達成するために設置された本学園の平成30年度における概要は、以下のとおりです。

1. 設置する学校及び入学定員の状況

(平成30年5月1日現在)

校名	学科	コース	入学定員 (30年度)
名古屋大谷高等学校	普通科	特別進学コース 特別選抜コース 福祉医療進学コース 文理進学コース	450
	商業科		
豊田大谷高等学校	普通科	特別選抜コース 人間福祉コース 情報メディアコース 文理コース 生活文化コース	240
合計 (収容定員合計)	—	—	780 (2,340)

2. 設置する学校の生徒数の推移

(平成30年5月1日現在)

校名	1年	2年	3年	合計	29年度	28年度
名古屋校	598	433	566	1,597	1,698	1,866
豊田校	224	258	305	787	818	801
計	822	691	871	2,384	2,516	2,667

合計 2,384名 (平成29年度比 △132名、28年度比 △283名)

3. 設置する学校の教職員数の推移

【平成30年度】

(平成30年5月1日現在)

校名	教員 専任・常勤	事務・用務 専任・常勤	合計 専任・常勤
名古屋大谷高等学校	88	20	108
豊田大谷高等学校	47	11	58
法人	—	3	3
合計	135	34	169

【平成29年度】

(平成29年5月1日現在)

校名	教員 専任・常勤	事務・用務 専任・常勤	合計 専任・常勤
名古屋大谷高等学校	95	19	114
豊田大谷高等学校	45	10	55
法人	—	4	4
合計	140	33	173

4. 役員の概要

(平成30年5月1日現在)

【理事】 9名 (理事定数 9名)

【監事】 2名 (監事定数 2名)

【評議員】 19名 (評議員定数 19名)

2 事業の概要

1. 各校の概要

【建学の精神】

宗祖 親鸞聖人のみ教えに基づき、いのちを大切にし、真実に生きる人間形成を目指す。

(1) 名古屋大谷高等学校

校訓 「人と生まれ 人になる」

【教育方針】

- ① 「宗教」「しつけ」「進路実現」と「部活動」＝3S&Bの実践
- ② 「学力向上運動」の推進
～しつけ（生徒指導）を基盤においた学力向上運動～
- ③ 「環境美化運動」の推進 整理・整頓・清潔・清掃
- ④ 退学者削減（緊急課題）への取り組み

【めざす生徒像】

- ① 社会性を身につけた生徒
- ② ひとを思いやる心をもった生徒
- ③ あいさつ（おはよう・こんにちは・ありがとう）が大きな声で言える生徒

【モットー】

- ① 生徒モットー 『笑顔・あいさつ・身だしなみ』
- ② 教員モットー 『指導の内実を高めるー授業で勝負する』

(2) 豊田大谷高等学校

校訓 「命尊し」

【教育方針】

- ① 地域に信頼され、期待される学校
- ② 在校生の満足度を高める
- ③ 社会人としての資質を育成する
- ④ 生徒を育てる教職員の力量を向上させる

【めざす生徒像】

- ① 思いやりの心を育み、自分の命を大切にする
- ② 集団の一員として自覚を持ち、コミュニケーション力をつける
- ③ 目的意識を明確に持ち、自分のことは自分で判断し、自分の言動に責任を取る

【モットー】

- ① 生徒モットー 『あいさつ、返事、少しのがまん』
- ② 教員モットー 『わかる授業づくりに取り組む』

2. 平成30年度 特別事業の概要

(1) 学校施設設備整備事業

教育環境づくりを目的として以下の設備工事を行った。

豊田大谷高等学校の施設工事

○体育館改修工事

- ①実施時期 平成30年6月より9月
- ②事業箇所 体育館
- ③予算科目 建物および教育研究経費
- ④財 源 学園資金

1. 資金収支計算書

資金収支計算書

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月31日まで

(単位：千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	(1,045,991)	(1,050,063)	(△ 4,072)
手数料収入	(38,623)	(38,797)	(△ 174)
寄付金収入	(110,287)	(111,481)	(△ 1,194)
補助金収入	(1,067,197)	(1,065,705)	(1,492)
資産売却収入	(0)	(0)	(0)
付随事業・収益事業収入	(0)	(0)	(0)
受取利息・配当金収入	(11,615)	(11,667)	(△ 52)
雑収入	(21,561)	(22,439)	(△ 878)
借入金等収入	(0)	(0)	(0)
前受金収入	(187,760)	(189,860)	(△ 2,100)
その他の収入	(166,019)	(175,001)	(△ 8,982)
資金収入調整勘定	(△ 186,665)	(△ 186,070)	(△ 595)
前年度繰越支払資金	(892,331)	(892,331)	
収入の部合計	(3,354,719)	(3,371,274)	(△ 16,555)
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	(1,615,895)	(1,613,850)	(2,045)
教育研究経費支出	(287,866)	(283,110)	(4,756)
管理経費支出	(58,450)	(53,915)	(4,535)
借入金等利息支出	(3,263)	(3,263)	(0)
借入金等返済支出	(79,617)	(79,617)	(0)
施設関係支出	(13,338)	(13,323)	(15)
設備関係支出	(5,722)	(5,582)	(140)
資産運用支出	(250,000)	(250,000)	(0)
その他の支出	(149,001)	(148,375)	(626)
[予備費]	(0)		25,000
	25,000		
資金支出調整勘定	(△ 28,964)	(△ 28,262)	(△ 702)
翌年度繰越支払資金	895,531	948,501	△ 52,970
支出の部合計	(3,354,719)	(3,371,274)	(△ 16,555)

2. 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月31日まで

(単位：千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学 生 生 徒 等 納 付 金	(1,045,991)	(1,050,063)	(△ 4,072)	
		手 数 料	(38,623)	(38,797)	(△ 174)	
		寄 付 金	(110,287)	(111,481)	(△ 1,194)	
		経 常 費 等 補 助 金	(1,064,640)	(1,063,147)	(△ 1,493)	
		付 随 事 業 収 入	(0)	(0)	(0)	
		雑 収 入	(21,561)	(22,667)	(△ 1,106)	
		教 育 活 動 収 入 計	(2,281,102)	(2,286,155)	(△ 5,053)	
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		人 件 費	(1,615,895)	(1,613,850)	(△ 2,045)	
		教 育 研 究 経 費	(469,866)	(464,292)	(△ 5,574)	
		管 理 経 費	(65,150)	(60,508)	(△ 4,642)	
		徴 収 不 能 額 等	(0)	(0)	(0)	
		教 育 活 動 支 出 計	(2,150,911)	(2,138,650)	(△ 12,261)	
	教育活動収支差額		(130,191)	(147,505)	(△ 17,314)	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		受 取 利 息 ・ 配 当 金	(11,615)	(11,667)	(△ 52)	
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	(0)	(0)	(0)	
		教 育 活 動 外 収 入 計	(11,615)	(11,667)	(△ 52)	
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		借 入 金 等 利 息	(3,263)	(3,263)	(0)	
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	(0)	(0)	(0)	
		教 育 活 動 外 支 出 計	(3,263)	(3,263)	(0)	
		教育活動外収支差額		(8,352)	(8,404)	(△ 52)
		経 常 収 支 差 額		(138,543)	(155,909)	(△ 17,366)
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資 産 売 却 差 額	(0)	(0)	(0)	
		そ の 他 の 特 別 収 入	(6,554)	(6,568)	(△ 14)	
		特 別 収 入 計	(6,554)	(6,568)	(△ 14)	
	事業活動支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資 産 処 分 差 額	(280)	(245)	(△ 35)	
		そ の 他 の 特 別 支 出	(0)	(0)	(0)	
		特 別 支 出 計	(280)	(245)	(△ 35)	
		特別収支差額		(6,274)	(6,323)	(△ 49)
		[予 備 費]		(0)		25,000
基本金組入前当年度収支差額		119,817	162,232	△ 42,415		
基本金組入額		△ 37,000	△ 36,470	△ 530		
当年度収支差額		(82,817)	(125,762)	(△ 42,945)		
前年度繰越収支差額		△ 3,452,983	△ 3,452,983	0		
基本金取崩額		0	0	0		
翌年度繰越収支差額		(△ 3,370,166)	(△ 3,327,221)	(△ 42,945)		
(参考)						
事業活動収入計		2,299,271	2,304,390	△ 5,119		
事業活動支出計		2,179,454	2,142,158	37,296		

3. 貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成31年 3月31日

(単位：千円)

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	(11,069,732)	(10,984,706)	(85,026)
有 形 固 定 資 産	(9,171,220)	(9,332,214)	(△) 160,994
土 地	6,477,893	6,477,893	0
建 物	2,439,117	2,567,339	△ 128,222
構 築 物	137,615	155,522	△ 17,907
教 育 研 究 用 機 器 備 品	46,803	62,592	△ 15,789
管 理 用 機 器 備 品	10,300	10,465	△ 165
図 書	58,046	56,614	1,432
車 輛	1,446	1,789	△ 343
特 定 資 産	(1,622,697)	(1,372,697)	(250,000)
そ の 他 の 固 定 資 産	(275,815)	(279,795)	(△) 3,980
流 動 資 産	(971,582)	(1,003,868)	(△) 32,286
現 金 預 金	948,501	892,332	56,169
そ の 他 の 流 動 資 産	23,081	111,536	△ 88,455
資 産 の 部 合 計	(12,041,314)	(11,988,574)	(52,740)
負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	(445,250)	(503,779)	(△) 58,529
長 期 借 入 金	445,250	503,779	△ 58,529
流 動 負 債	(338,807)	(389,771)	(△) 50,964
短 期 借 入 金	58,529	79,616	△ 21,087
未 払 金	36,202	93,191	△ 56,989
前 受 金	189,860	173,440	16,420
預 り 金	54,216	43,524	10,692
負 債 の 部 合 計	(784,057)	(893,550)	(△) 109,493
純資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	(14,584,478)	(14,548,007)	(36,471)
第 1 号 基 本 金	14,353,781	14,317,310	36,471
第 3 号 基 本 金	72,697	72,697	0
第 4 号 基 本 金	158,000	158,000	0
繰 越 収 支 差 額	(△) 3,327,221	(△) 3,452,983	(125,762)
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 3,327,221	△ 3,452,983	125,762
純 資 産 の 部 合 計	(11,257,257)	(11,095,024)	(162,233)
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	(12,041,314)	(11,988,574)	(52,740)

4. 財産目録

財 産 目 録

(平成31年3月31日現在)

1. 資 産 総 額	金	12,041,314 千円
内		
1 基 本 財 産	金	9,176,898 千円
2 運 用 財 産	金	2,864,416 千円
2. 負 債 総 額	金	784,057 千円
3. 正 味 財 産	金	11,257,257 千円
(一) 資 産		
(1) 基 本 財 産	金	9,176,898 千円
(イ) 土 地	金	6,477,893 千円
94,098.00 平方メートル		
(ロ) 建 物	金	2,439,117 千円
31,673.58 平方メートル		
(ハ) 構 築 物	金	137,615 千円
(ニ) 機 器 備 品	金	57,103 千円
9,039 点		
(ホ) 図 書	金	58,046 千円
47,399 冊		
(ヘ) そ の 他	金	7,124 千円
(2) 運 用 財 産	金	2,864,416 千円
(イ) 預 貯 金 ・ 現 金	金	948,501 千円
(ロ) 有 価 証 券	金	270,093 千円
(ハ) 特 定 資 産	金	1,622,697 千円
(ニ) 未 収 入 金	金	23,060 千円
(ホ) 長 期 貸 付 金	金	44 千円
(ヘ) 前 払 金	金	21 千円
(二) 負 債	金	784,057 千円
(1) 固 定 負 債	金	445,250 千円
(イ) 長 期 借 入 金	金	445,250 千円
(2) 流 動 負 債	金	338,807 千円
(イ) 短 期 借 入 金	金	58,529 千円
(ロ) 前 受 金	金	189,860 千円
(ハ) 未 払 金	金	36,202 千円
(ニ) 預 り 金	金	54,216 千円